

# ソフトムの広場

No.100

しまね原子力広報 2014.1

島根県

[第3回]

## 知っておきたい防災!

消防団員向け  
原子力防災研修開催



平成25年度 第4回  
**原子力関連施設  
見学会参加者募集**

島根原子力発電所周辺  
環境放射線調査結果

平成25年7月から9月まで  
異常は認められませんでした。

表紙イラスト／移動式体表面測定車の展示・体験!  
P8の「知ってる？測ってる！」のコーナーで解説しています

第3回

# 知つておきたい防災!

このコーナーでは、もしものときに役立つ防災知識をお知らせします。

島根県では、万が一の原子力災害に備えて、毎年原子力防災訓練を実施しています。平成25年度は、2県6市(島根県、松江市、出雲市、安来市、雲南市、鳥取県、米子市、境港市)が主体となって、平成25年11月5日(火)、10日(日)の2日にわたって実施し、島根県側では約100機関、約3,500名が参加しました。

今回の訓練では、要援護者に係る避難対策の充実、新たに整備した通信機器等に関する使用の習熟を重点項目としました。

## 初動対応訓練 (緊急時通信連絡訓練)

島根原子力発電所2号機でトラブルが発生し、施設敷地緊急事態、全面緊急事態(アトムの広場No.98号で紹介)と事故が進展したとの想定で、島根県災害対策本部などの運営や、関係機関への通信連絡訓練を行いました。



島根県災害対策本部

## オフサイトセンター設置運営訓練

緊急事態応急対策等拠点施設(通称:オフサイトセンター)である島根県原子力防災センターにおいて、国・2県6市などから要員が参集し、原子力災害への対応状況についての情報共有を行い、原子力規制庁、各自治体災害対策本部とオフサイトセンター間でTV会議システムを使用した会議を開催するなどの訓練を行いました。



TV会議システムを使用した会議

## 緊急時モニタリング訓練

発電所周辺地域において、大気や水・葉菜・土などの環境試料を採取し、その中に含まれる放射性物質の種類や量を測定する訓練や、30km圏内において、積算線量計やサーベイメータ、新たに整備した可搬型モニタリングポストを用いて空間放射線を測定する訓練を行いました。

また、これらの活動の拠点となる緊急時モニタリングセンターの運営訓練も行いました。



緊急時モニタリングセンター活動風景



可搬型モニタリングポスト設置

## 住民の避難訓練

松江、出雲、安来、雲南4市の住民の方を対象とした避難訓練を行いました。

	参加者数	避難訓練参加地区
松江市	約307人	島根地区、鹿島地区、法吉地区、城東地区、白潟地区、朝日地区、雑賀地区
出雲市	約95人	莊原地区、出西地区、阿宮地区、伊波野地区、直江地区、久木地区、出東地区
安来市	約49人	大塚地区
雲南市	約96人	八日市地区
計	約547人	

(※今回の訓練では、鳥取県においても米子市、境港市で避難訓練を実施しています。)

訓練では、住民広報により、各地区で一時集合所に集まった住民の方がバスに乗って避難しました。併せて、放射性物質による汚染の有無を調べるスクリーニング、自衛隊による除染の実演なども行いました。一連の避難手順確認後、原子力防災学習、展示見学などを各避難所で行いました。



スクリーニング



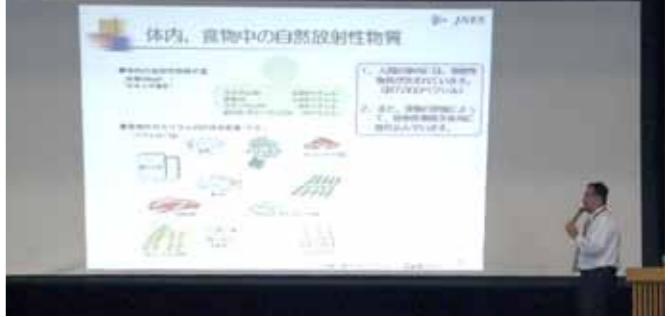
自衛隊による車両除染の実演



避難バスへの乗車



原子力防災展示



原子力防災学習

## 要援護者の避難訓練

平成24年度に島根県が作成した病院や社会福祉施設(入所施設)における避難計画作成ガイドラインの検証と、避難手順等を確認するため、病院(鹿島病院)及び社会福祉施設(福祉型障害児入所施設松江学園・障害者支援施設はばたき)において、訓練を行いました。訓練では、入院患者(模擬)、入所者(一部模擬)を安全に救急車両、自衛隊車両等へ誘導し、搬送する手順などを確認しました。



救急車両へ搬送



自衛隊車両へ搬送

# 島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

平成25年  
7月～9月

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るために、環境放射線等の調査を行っています。

Shimane Atomic Information

アトムの広場

今期の調査結果を検討・評価したところ、異常は認められませんでした。

雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える？

大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。

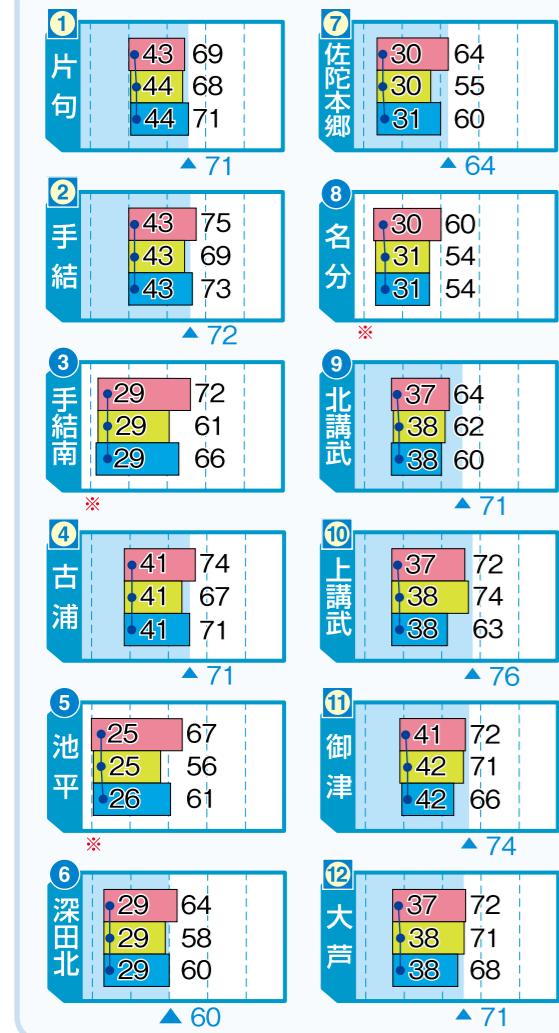
## 空間放射線線量率（固定局）

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されました。しかし、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、環境への影響は認められませんでした。

○平常の変動幅：  
平成20年4月～同25年3月までの全データを統計処理した範囲

※平成24年度に新設した測定地点の平常の変動幅は未設定です。

### 0～5km圏内



## 空間放射線の測定

### 空間放射線線量率測定（常時）



### 24時間連続監視

島根県原子力環境センター

情報は、原子力安全対策課ホームページでリアルタイムに県民の皆さんへ公開しています。

単位：ナノグレイ／時(nGy／時)  
20 40 60 80 100 120  
測定地點名  
7月 平均値  
8月 最高値  
9月 平均値  
最高値  
平常の変動幅[上限値]  
グラフの見方

### 空間放射線積算線量測定（年4回）



### 2分毎に観測データを送信

島根県原子力環境センター

情報は、原子力安全対策課ホームページでリアルタイムに県民の皆さんへ公開しています。

## 島根原子力発電所

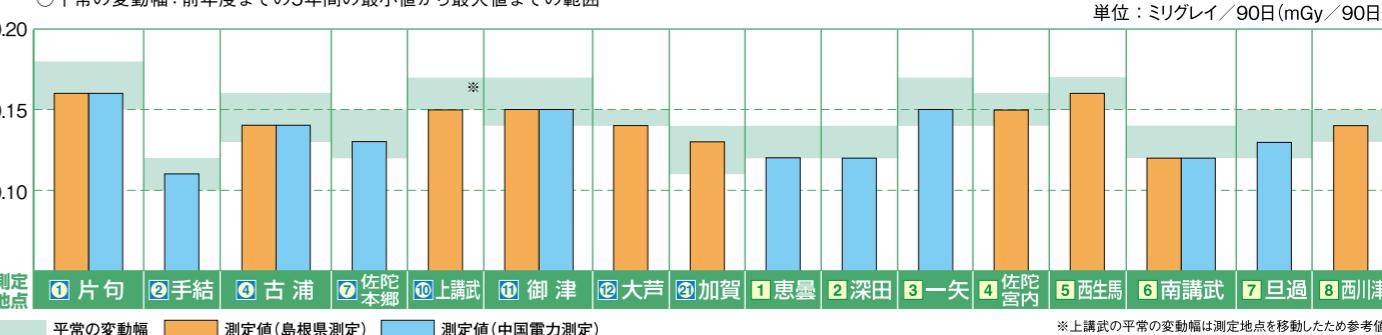


## 空間放射線積算線量

－各測定地点で3ヵ月にわたって測定された放射線の合計量－

すべての地点で、平常の変動幅におさまる線量で、いずれも環境への影響は認められませんでした。

○平常の変動幅：前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲



## 空間放射線線量率（可搬型）

持ち運びのできる可搬型モニタリングポストを5地点に設置し、空間放射線線量率を測定しています。

ダラの見方	測定地點名	単位：ナノグレイ／時(nGy／時)		
		20	40	60
3	玉湯	44	76	71
4	広瀬	45	80	77
5	木次	35	63	64
1	平田	41	74	60
2	八束	36	58	67

## 0～5km圏拡大図



## 環境試料中の放射能

-農畜産物、海産生物、土壤、水、塵などに含まれる放射性物質の種類と量を測定しています-

### ●ガンマ線スペクトロメーターによる分析結果(平成25年7月~9月採取分)

試料区分	測定結果	平常の変動幅( <sup>137</sup> Cs)
浮遊塵	ND	ND
原乳	ND	ND( <sup>131</sup> I)
さざえ	ND~0.04	ND~0.06
ほんだわら類	ND	ND

※ND:検出下限値未満

※「平常の変動幅」は平成22年度までの過去10年間の最小値から最大値までの範囲です。

※<sup>137</sup>Cs:セシウム137、<sup>131</sup>I:ヨウ素131

※ガンマ線スペクトロメーター対象核種～原乳：<sup>131</sup>I、その他の試料：<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>137</sup>Cs (一部試料については<sup>131</sup>I)

※単位:浮遊塵 マイクロペクレル/m<sup>3</sup>、水道原水、原乳 ミリペクレル/ℓ、農産物・海

産生物 ペクレル/kg(生)

一部の試料から福島第一原発事故や過去の大気圈内核実験によるものと思われる微量の放射性物質を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

### ●ストロンチウム90測定結果(平成25年4月~5月採取分)

試料区分	測定結果	平常の変動幅( <sup>90</sup> Sr)
松葉	2.5	4.3~12
さざえ	ND	ND
わかめ	ND	ND~0.09

※「平常の変動幅」は前年度までの過去10年間の最小値から最大値までの範囲です。

※<sup>90</sup>Sr:ストロンチウム90 単位:松葉、海産生物 ペクレル/kg(生)、海水 ミリペクレル/ℓ

※ストロンチウム90の分析・評価には時間を見るため、1期ずらして報告することがあります。

### ●参考 食品中の放射性セシウムの基準値\*(平成24年4月より適用)

食品群	基準値	食品群	基準値
一般食品	100	乳児用食品	50
牛乳	50	飲料水	10

単位:ペクレル/kg  
※食品衛生法の規定により、食品に含有されるものであってはならないとされる値

## 温排水調査結果

-島根原子力発電所から放出される、温排水の環境への影響を調査しています-

今期の調査結果を検討・評価したところ、異常は認められませんでした。

現在、1・2号機が定期検査中、3号機が建設中ですが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

※詳細な調査結果は冊子『島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果(平成25年度・第2四半期)』にとりまとめ、県立図書館等に配布するほか、ホームページでも公開します。

## 放射線に関する講演会を開催しました

11月に県内3会場で、「知っておきたい放射線のこと～正しく知って、賢く恐れる～」と題して開催した講演会の様子を一部お伝えします。

益田会場
●日時 平成25年 <b>11月17日(日)</b>
●場所 石見高等看護学院 大講義棟
●参加者数 56名

松江会場
●日時 平成25年 <b>11月23日(土)</b>
●場所 くにびきメッセ 国際会議場
●参加者数 85名

出雲会場
●日時 平成25年 <b>11月24日(日)</b>
●場所 アクティひかわ 多目的ホール
●参加者数 76名

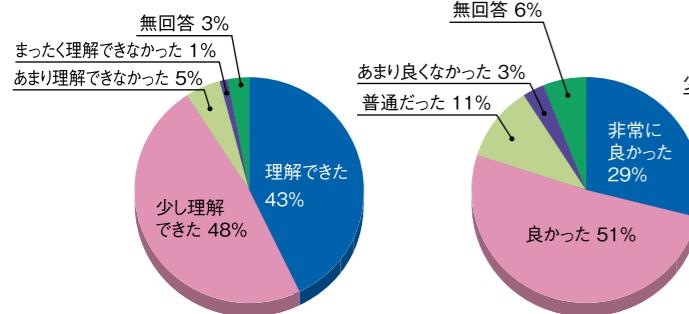


■講師 明石 真言 氏  
独立行政法人 放射線医学総合研究所 理事

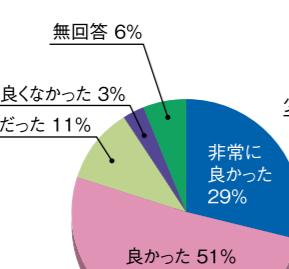
### アンケート結果

参加者のみなさんからいただいたご意見を参考にして、今後の活動に活かしていきます。

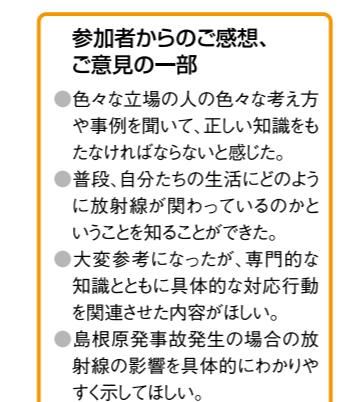
Q 講演の内容はわかりやすかったですか。



Q 講演会全体について



Q 講演を聞いて、放射線・放射性物質についてどのように感じましたか



## 消防団員向け原子力防災研修を開催しました

11月30日(土)・12月1日(日)に県内消防団員を対象として、原子力防災に関する講義と視察研修を実施し、約280名の方にご参加いただきました。

### <内容>

#### ■講義(会場:島根県原子力防災センター)

発電所安全対策、県の原子力安全・防災対策  
放射線の基礎知識など

#### ■視察(会場:島根原子力発電所)

発電所安全対策実施状況  
3号機現場視察など



県の原子力安全・防災対策の説明



安全対策実施状況の視察



放射線の測定実習



3号機現場の視察

### 参加者からのご感想、ご意見の一部

- 地震等があれば、まず家屋倒壊等に出動すると思うが、原子力防災まで手が回るか心配だ。
- 原子力防災時の消防団の役割や避難誘導などの活動は、各市、各消防本部、各団が、団員にどのような活動を担わせるのか決めたうえで、団員に周知すべき内容だと思う。
- 全体的に内容が詰め込み過ぎるように感じた。要点を絞り込んでほしい。
- 原子力安全防災について、消防団は知識がとぼしい。できれば、継続してこのような研修を行ってほしい。

参加者のみなさんがいたいご意見を参考にして、今後の研修に活かしていきます。

## 中国電力(株)から事前了解願いの提出がありました

11月21日に中国電力(株)から島根県及び松江市に対して、島根原発2号機の国が定めた新規制基準(アトムの広場No.99号)での適合性確認申請について、安全協定第6条に基づく事前了解願いの提出がありました。

島根県としては、県議会や県の安全対策協議会、原子力安全顧問などの意見を踏まえて、以下のとおり、中国電力(株)が原子力規制委員会へ適合性確認申請することについては、了解する方針としました。(詳しくは2月号外にてお知らせします。)

### <島根県の事前了解願いの取扱方針>

- 1 中国電力(株)が原子力規制委員会に申請することのみを了解する。
- 2 最終的な了解は、審査の終了後に、原子力規制委員会から審査結果について説明を受け、県議会や県の安全対策協議会、原子力安全顧問、関係自治体などの意見を聞いて、総合的に判断する。
- 3 今回の申請の了解にあたっては、中国電力(株)及び原子力規制委員会に対して申し入れを行う。

# 平成25年度 第4回 原子力関連施設見学会 参加者募集

島根県では、原子力発電についての正しい知識と、県が実施している環境放射線モニタリング等の安全対策や防災対策などについて皆さんに知っていただくため、県民の方を対象とした原子力関連施設見学会を開催します。

## ●開催日時

平成26年 3月6日(木) 9:15~15:45

## ●応募先

島根県 原子力安全対策課 見学会係

ページ下の連絡先までご応募下さい。

●応募締切 平成26年2月14日(金)必着

●募集人数 50名

## <注意事項>

○ハガキに参加を希望されるすべての方の住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日をご記入の上、ご応募下さい。ハガキ1枚で複数の方の応募をされてもかまいません。

なお、電話やFAX、メールでも申し込みができます。

※電話の受付は、平日の9時~17時です。また、応募内容の個人情報は、見学会の目的以外に使用することはありません。

○参加費は無料です。(受付場所までの交通費は参加者負担とさせていただきます。)

また、県庁にお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。

○昼食は県で用意し、移動は貸切バスで行います。

○小学生以下の方は保護者同伴でお願いします。

見学内容は、お子様向けの内容とはなっておりません。

## ●見学先

●受付:島根県原子力防災センター

9:00~ 9:15

島根県庁西方向 徒歩3分、島根県職員会館北側

●島根県原子力防災センター(松江市内中原町)

- ◆島根県の原子力安全・防災対策について説明

- ◆施設見学



●島根県原子力環境センター(松江市西浜佐陀町)

- ◆原子力環境センター紹介
- ◆放射線測定体験
- ◆施設見学



●島根原子力発電所(松江市鹿島町片句)

- ◆概要説明
- ◆運転訓練シミュレータ
- ◆原子力発電所構内見学(バス車内から)  
発電所建物内部には入れません。



\*各施設における説明内容等は変更になる場合があります。



平成25年11月10日、平成25年度島根県原子力防災訓練において、移動式体表面測定車の展示を雲南市住民避難訓練での避難先である掛合体育館で行い、多くの住民の方が体験されました。

移動式体表面測定車には、発電機、体表面モニタ、靴モニタ、簡易除染室などの車載型の体表面測定システムが搭載されており、皮膚や衣服に基準値以上の放射性物質が付着していないかの検査及び放射性物質の簡易除染などを行うことができます。

測定器は2台搭載されており、一度に2人までの測定が可能で、1回の測定時間は15秒程度(入室から退出までで2分くらい)となっています。



移動式体表面測定車



展示・体験の様子

今回の訓練では、車の貸し出し、操作支援などについて、原子力緊急時支援・研修センター(通称:NEAT)福井支所に協力してもらいました。

当該センターに配備している移動式体表面測定車は、福島第一原子力発電所の事故に際して、東京電力(株)の各支店等に出動し、作業員を対象に測定などを行ってきました。

しまね原子力広報

アトムの広場 No.100

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せ下さい。

※島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL(0852)22-6059(見学会係)

FAX(0852)22-5930

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

編集発行



2014年1月発行

※平成25年度広報・調査等交付金事業により作成しました。